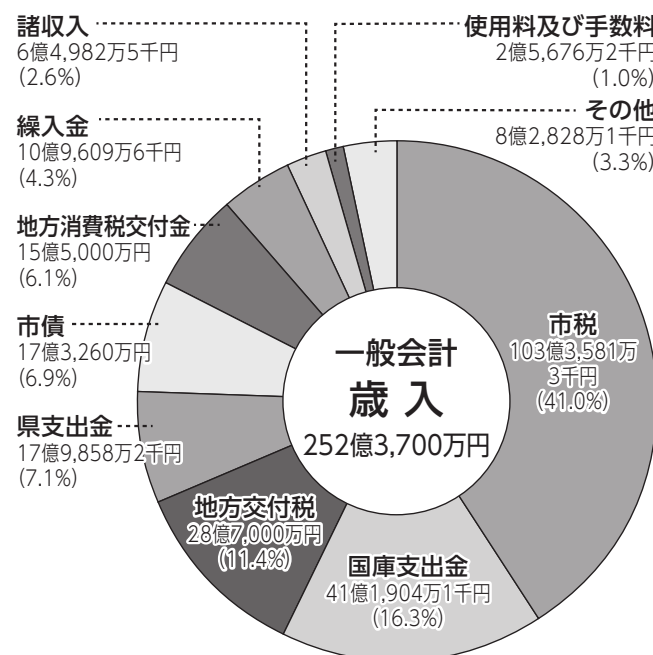
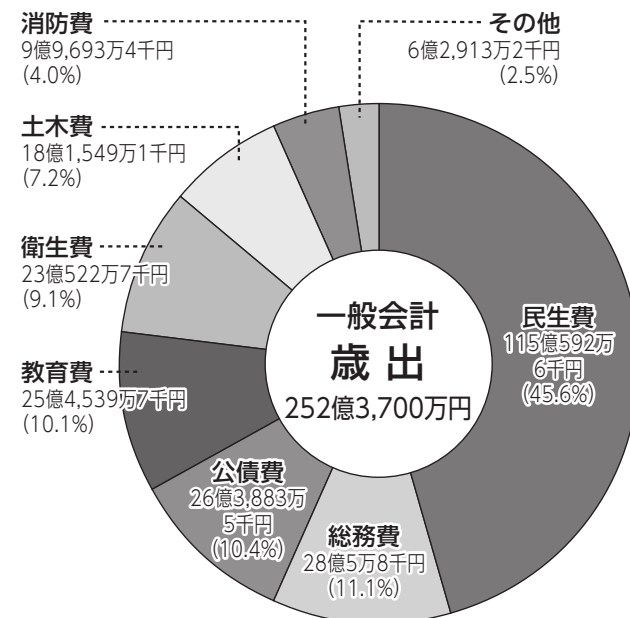


当初予算のあらまし



会計別の予算

(単位: 千円)

会 計 名		予 算 額	前年度比
一 般 会 計		25,237,000	5.2%
特 別 会 計	国民健康保険 特 別 会 計	7,366,000	0.1%
	介護 保 険 特 別 会 計	5,987,000	1.0%
	後期高齢者医療 特 別 会 計	1,288,000	13.2%
公共下水道事業 会 計		1,501,088	1.2%
合 計		41,379,088	3.7%

小数点第2位を四捨五入

歳入

歳入総額は、252億3,700万円で、前年度より5.2%増加しています。歳入で最も多いのは、市税(市民税、固定資産税など)で41.0%を占め、103億3,581万3千円を見込んでいます。次に多いのが国庫支出金で41億1,904万1千円となっています。以下、地方

一般会計内訳

歳出

交付税、県支出金、市債、地方消費税交付金と続いています。歳出総額も歳入と同じ252億3,700万円です。歳出で最も多いのは、民生費の115億592万6千円で45.6%を占め、次に、総務費28億5万8千円、以下、公債費、教育費、衛生費、土木費と続いています。

夢と希望を未来へ

令和4年度施政方針と予算のあらまし

詳しくは☎財政課 ☎788-4905

2月22日(火)から開催された3月定例会市議会で、令和4年度当初予算案が可決されました。予算総額は、一般会計、特別会計、公共下水道事業会計を合わせて413億7,908万8千円で、前年度に比べると3.7パーセントの増額となっています。



桶川市長
小野克典

令和4年度 施政方針(要旨)

改めて令和3年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な感染予防対策や新型コロナウイルスワクチン接種の推進などに全力を尽くした1年でありました。

令和4年度も引き続き、未だ事態の収束が不透明なコロナ禍にしっかりと立ち向かい、市長としての職務を全力で全うしていく所存でございます。今後とも市民の皆様の声に耳を傾け、これまで培った経験と実績を礎とし、夢と希望を未来へつなぐまちづくりに取り組んでまいります。

さて、本市の財政状況につきましては、過去に例のない極めて厳しい時代を迎えています。これまで簡素で効率的な行財政運営の確

立と行政サービスの更なる向上を図るため、歳入の確保や歳出の削減、借入金の抑制や基金の積み立て、指定管理者制度や民間活力の導入など、様々な取り組みにより健全な財政運営を図ってきたところでございます。しかしながら、ここ数年は、歳入は概ね同水準で推移している一方、歳出においては、社会保障経費などの義務的経費の増加や新たな行政需要の増加などを背景に、経常経費が増加することで多額の収支不足が発生しております。

このような厳しい財政状況の中でも、ポストコロナ時代を見据え将来に向けたまちづくりを推進するとともに、少子高齢化社会に向けた子育て支援や高齢者及び障害者福祉のより一層の充実を図ってまいります。また、江川周辺の防災対策など災害に強いまちづくりの推進や、市内小中学校の体育館空調設備整備など将来を担う子どもたちの教育環境のより一層の充

実を図ってまいります。

令和4年度の当初予算の編成に当たりましては、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、優先的に予算措置を講じたものでございます。

令和4年度も、「桶川市第五次総合振興計画」の将来都市像である「みんなでつくり育む活気あふれる交流拠点都市おけがわ」の実現と、「夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくり」に全力で取り組んでまいります。所存でございますので、より一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

(各分野の個々の事業の詳細につきましては、次ページ以降に掲載しておりますのでご参照ください)

今年度の主要事業をお知らせします

だれもが主役の桶川をつくる

【参画・協働】

男女共同参画推進事業

142万8千円

「第四次桶川市男女共同参画基本計画」を着実に推進するため、市民や関係機関との連携を図りながら、審議会などへの女性の積極的な参画の推進や男女共同参画コーナー「アソシエ」の利用促進を図ります。

地域コミュニティ推進事業

4,642万5千円

地域コミュニティの推進を図るため、各種コミュニティ推進団体へ補助金を交付するなど、町会・自治会などが行うコミュニティ活動を積極的に支援します。

市民活動サポートセンター運営事業

372万7千円

市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、市民団体の活動や協働事業の拠点として、市民活動サポートセンターを運営します。

○協働提案事業補助金

100万円

市民活動の活性化や市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、協働提案事業実施団体に補助金を交付します。

生きる力を育み
次代に繋げる桶川をつくる

【教育・文化】

○体育館空調設備整備事業

1,800万円

昨今の記録的猛暑などに鑑みて、市内すべての小・中学校体育館に空調設備の整備を行います。令和4年度は桶川小学校、加納小学校、川田谷小学校、桶川西小学校において設置のための設計委託を実施します。

○川田谷生涯学習センター大規模改修事業

2億9,026万3千円

川田谷生涯学習センターの老朽化に伴い、令和4年度から2か年の継続事業として施設の大規模改修を実施し、施設の長寿命化と利便性の向上を図ります。

○学校プール民間委託事業

870万3千円

民間事業者の施設を利用して、学校のプール授業を行うことにより、天候に左右されず安定的な授業の実

施、教員とインストラクターの指導

による泳力の向上および長期的なプール維持管理経費の削減を図ります。令和4年度は桶川東中学校、桶川西中学校の2校で実施します。

○給食室トイレ改修事業

1,100万円

感染症対策、調理室の衛生環境の向上およびバリアフリー化のため、市内小・中学校給食室の調理員専用トイレを改修します。

○オンライン通信費助成事業

570万円

家庭におけるオンライン学習に伴う保護者の負担を軽減するため、就学援助費および特別支援就学援助費の対象世帯に対して、通信費を助成します。

共に支え合いいきいきと
暮らせる桶川をつくる

【健康・福祉】

○新型コロナウイルス接種事業

2億8,465万2千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止および重症化予防の観点から、新型コロナウイルス初回接種（1・2回目）が完了していない市民への接種機会の提供を継続するとともに、2回目の接種が完了した市民全てに対して追加接種（3回目）の

機会を提供します。

○いずみの学園整備事業

1,400万円

建築から47年経過するいずみの学園について、老朽化対策と併せ、近年多発する災害への対策を図るため、水害危険度の低い場所への移転整備を行います。令和4年度は設計および地質調査を行います。

○予防接種事業（子宮頸がん・帯状疱疹ワクチン）

1,462万1千円

12歳から16歳の女子を対象に子宮頸がんワクチンの定期接種の勧奨を開始します。また、50歳以上の人を対象に带状疱疹ワクチン接種に係る経費の一部を助成します。

○保育補助者雇上強化事業

600万円

感染症対策の徹底など業務量が増加している保育士の負担を軽減し、離職防止を図り、安定的な保育所運営を推進するため、保育補助者を雇い上げる民間事業者などに対し補助金を交付します。

○母子保健事業（産婦健診、産後ケア）

394万8千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の更なる充実を図るため、新たに産後健診の助成を開始

します。また、産後ケア事業として従来の居宅訪問型に加え、短期入所型および通所型を新たに実施します。

○地域福祉活動センター大規模改修事業

3億7,489万7千円

地域福祉活動センターの老朽化に伴い、施設の大規模改修を実施し、新たな活動拠点としてリニューアルすることで更なる地域福祉の推進を図ります。開館は令和4年9月を予定しています。

○総合福祉センター昇降機改修事業

350万円

老朽化した総合福祉センター内の昇降機を改修します。令和4年度は設計を実施し、令和5年度に改修工事を予定しています。

○要保護児童訪問支援事業

108万円

要保護児童対策地域協議会に登録されている要保護児童のうち、通告や一時保護を繰り返すハイリスク世帯を対象に、ヘルパーを無償で派遣すること、家事、育児の底上げを行い、児童虐待の防止を図ります。



環境にやさしく安心・安全に住み続けられる桶川をつくる

【市民生活】

○脱炭素推進事業

1,649万4千円

地球温暖化対策推進のため令和3年10月30日に表明したゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、市民などへの普及啓発、再生可能エネルギーの普及促進、ごみ減量化などの取り組みを推進します。

○通学路安全対策事業

1,350万円

市内小・中学校などの通学路の交通安全を確保するため実施した、通学路安全総点検による危険箇所について、舗装修繕やグリーンベルト設置などの安全対策を実施します。

○地域防災計画策定事業

540万円

法令および国・県の上位計画に基づき、近年の災害の教訓など最新の知見や新たな動向を踏まえて、災害に備えるためのより実効性の高い地域防災計画へ改訂します。

○道路照明灯LED化事業

3,400万円

道路照明灯の電気使用量の削減や二酸化炭素の削減による環境負荷の軽減などを図るため、市内全域で道

路照明灯のLED化を推進します。

昨年度は試験的に路線を選定し実施しましたが、令和4年度以降は計画的に整備をし市内全域のLED化を図ります。

みどりと調和した
暮らしやすい桶川をつくる

【みどり・都市基盤】

○愛宕東線整備事業

1,600万円

愛宕東線の全体計画延長1,080mのうち約880mが土地区画整理事業により完成しました。令和4年度から残りの約200mの整備を開始します。

○駅東口整備事業

1億220万4千円

駅前広場や駅東口通り線などの整備を進めながら、安全で、にぎわいのある桶川駅東口周辺地区を目指します。令和4年度は、「駅東口駅前広場」整備のための用地取得、無電柱化詳細設計および歩行者用通路などの屋根の設計、「市道11―1号線（中山道線交差点付近）」整備のための道路詳細設計を実施します。

○目沢排水路治水対策事業

1,400万円

目沢排水路流域内における道路冠水の軽減などを図るため、治水対策

調査を実施します。

○上日出谷南2号調整池整備事業

1億6,058万2千円

上日出谷南特定土地区画整理事業に伴う、雨水流抑制対策として整備を進めてきた調整池を令和4年度に完成させます。

○河川浚渫推進事業

8,685万円

河川の流下能力を確保し、浸水被害の軽減を図るため、石川川の浚渫工事並びに高野戸川、江川流域水路舎人調整池および東部都市下水路を浚渫するための設計を行います。

にぎわいと活力ある
桶川をつくる

【産業】

○道の駅推進事業

2,823万円

地域の魅力発信・産業の振興・災害時の防災拠点となる「道の駅」を整備するため、令和4年度は令和6年度中の開業予定に向け、設計・建設および維持管理・運営を一括して行う事業者の選定を行います。

○平和祈念館映像コンテンツ発信事業

700万円

映像コンテンツを作成し、ホームページなどの媒体で魅力発信すると

ともに館内での映像展示の充実を図ります。

○べに花の郷づくり事業

790万円

べに花をシンボルとした個性あるまちづくりを推進するため、べに花の咲き誇る景観づくりをはじめとする啓発事業を実施します。

計画的で将来を見据えた
桶川をつくる

【行財政運営】

○総合振興計画策定事業

1,396万9千円

まちづくりと行政運営の方向性を示し、計画的に施策を推進する必要があるため、総合的な市政運営のための指針となる次期総合振興計画を策定します。

○広報事業

2,512万2千円

市民の身近な情報源として広報誌や公式ホームページの更なる充実を図るとともに、SNSなど多様な方法を活用した情報発信に努め、開かれた市政の実現を目指します。

※各事業は主なものの概要、順不同です。